

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2020-004
2.研究課題名	遠感覚で知覚される刺激による快-不快情動の喚起と大脳皮質活動： NIRSによる検討
3.研究期間	令和2年7月（部局長承認後）～ 令和3年9月30日
4.研究の概要	<p><b>意義・目的</b>（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。）</p> <p>今日では新型コロナウイルスの影響でテレワークやオンライン授業が実施され、文字や音声といった遠感覚である視覚と聴覚で知覚される情報に触れる機会がますます多くなっている。本研究では、快感情・不快感情を喚起させる可能性のある視覚および聴覚の、遠感覚に分類される2つの感覚様式の刺激について、複数の感覚様式の刺激を同時に呈示した際の賦活部位および賦活度合いを単一の刺激を呈示した際と比較し、どの感覚で知覚される刺激がどの程度感情喚起に寄与しているのか、また、複数の刺激による感情喚起は相加的なものであるのか相乗的なものであるのかを明らかにすることを目的とする。脳活動計測には、安全性、行動制限や賦活反応の時間分解能などを加味し、近赤外光脳機能イメージング装置「NIRS」を用いて評価を実施する。</p> <p><b>方法</b>（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと）</p> <p>東北大学の大学生・大学院生男女計20名を予定し、口頭による募集を行う。</p> <p>近赤外光イメージング装置（NIRS: Shimadzu FOIRE-3000）を脳活動計測に用い、快感情・不快感情を喚起させる可能性のある刺激を認識しているときの脳活動（前頭前野）を計測する。すべての情報は連結可能な形で匿名化される。実験参加にあたる謝礼として、一人あたり1,000円の図書カードを提供する。</p> <p><b>問い合わせ・苦情等の窓口</b>（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと）</p> <p>文学研究科心理学研究室（022-795-6048） 東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」倫理審査委員会事務局（教育学研究科総務企画係）（022-795-6103）</p>

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）